

# 行き着くふたり

## CONCEPT

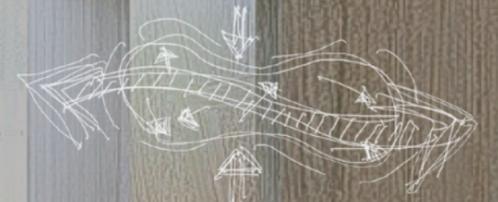
帰る先が同じ、行き着くふたりの場所。

その場所が絶対的なふたりの閉じた空間ではなく、開かれた中でふたりである、相対的なふたりの空間であることが、窮屈さもなく、息苦しさも生まず、互いが自然体でいられるところだと思う。

ワンルームという空間を 2.5 つの空間に緩やかに分け、互いが自然と距離をはかれるような空間を。2人で話し合っその場所を作っていく余地を残しながら、その余地が独占的にならず共有されていくのがいいと考えた結果、個が確かにあることから始め、その先に2人の自然な間合いが展開されていく空間に行き着いた。



close/flat

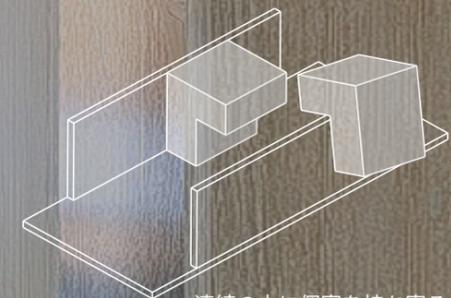


series/characteristic

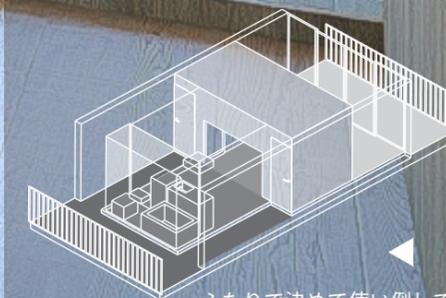
## DIAGRAM

外と連続しながら質の異なる場所をつくる。

手前は生活機能に満ちた場所であり、奥は外部空間を備えた2人で話し合っ決めて作っていく場所である。2人の個性で様々な空間が展開されていく。



連続の中に個室を持ち寄る



ふたりで決めて使い倒していく



街/個/ふたりへ行き着く



Plan 1/50(A3)

